

第1学年〇組 学級活動（1）学習指導案

日 時 令和5年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所 1年〇組教室

授業者 〇〇 〇〇

1 議題 「学級生活でよりメリハリをつけるための取組を考えよう」

（ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2 議題について

（1）生徒の実態

本学級では、学級目標である「さとう」（最善な判断を行い、ときと場に応じた言葉を考え、頂点（うえ）を目指してがんばろう）を達成するために、ABC（当たり前のことを、馬鹿にしないで、ちゃんとやろう）を普段から意識して取り組んでいる。どの教科の授業でも積極的に挙手、発言できる生徒が多い。給食や清掃などにも、積極的に取り組む生徒が多い。学級委員やリーダーだけではなく、気付いた生徒が仲間をフォローしながら取り組むことができている。

4月に学級目標を決め、基礎基本を大切にしながら学級づくりが始まった。〇月に行われた体育祭では、クラススローガンを決め、全員全力で練習から取り組むことを目標に進めた。体育委員が中心となって休み時間に競技練習をすることや、先輩と協力して生徒自らの意思で団結を高めることができた。〇月の合唱祭では、ダイヤモンドランキングを学活で行い、学級で優先することは、「団結力」、次に「努力」「練習量」「一生懸命」と決まった。学級の練習では、全員で曲づくりを仕上げようと実行委員を中心に意見を出し合いながらパート別の練習を行った。リハーサルや他学年との練習でも常に全力で取り組むことができた。音楽の授業で課題が出たときは、自らの力で解決しようと、話し合いや試行錯誤を繰り返しながら取り組むことができた。行事の振り返りでは、満足している生徒が多くいた。このように、大きな行事には団結して取り組むことができているように思える。

学級会は、当初から司会などを輪番制にすることで、すべての生徒に役割の意識を持たせている。定期的に学級会を開催し多くの意見を取り入れて進めることで、意見が出しやすい雰囲気づくりに力を入れている。発言は多くの生徒ができている。

1学期の終わりには、よりよい学級づくりとして課題を出したところ、給食の時間の準備が遅いと感じる生徒が多かった。そこで、準備の最適化を図るために2学期はじめの学級会でも継続して話し合った。呼びかけ、時間を計って掲示する等の意見を取り入れた結果、2学期半ばに、生徒の中でも一定の評価が出たと認識することができた。

学級会での課題は、発言できる生徒が特定の生徒だけになりやすいこと、人前での発言が苦手な生徒に対して、意見が置き去りにされてしまうような場面があったことである。学級活動委員の生徒からも同様の指摘があった。また、多くの意見が出る一方で、集約して方向性を定めて実際に実行するところまで時間がかかることも課題である。

今後、2学期のまとめにむけ、行事で得た団結力や学級会を通した課題解決力をさらに高めることが大切であると考え、そこで出た意見や考えを認め合いながら話し合い、生徒が主体的に課題解決し合意形成を行うことで生徒個々の自己有用感を育んでいきたい。

（2）議題選定の理由

2学期はじめにとったアンケートで、「クラスにメリハリが足りない」と答えた生徒が半数以上いた。理由を生徒に詳しく聞くと、「授業準備がギリギリの生徒が多い」、「ONとOFFの切り替えが遅い」などが課題であることがわかった。そこで、具体的な改善点や方策を学級会で決めることが、全員が共通の意識を高めるのに必要だと捉えた。

〇月の学級会では、「学校生活のどの部分にメリハリが足りないか」について話し合ったところ、給食の準備が課題であると意見が出た。学級会で決まった改善策として、呼びかけと準備時間の計時を行った。その結果改善が見られ、生徒の中でも一定の評価を得ることができた。

学級における課題を自らの力で解決しようとする意識の高まりを感じる中、〇月に入ると、学級活動委員から、よりメリハリをつけるための具体的な取組をアンケートで募り、学級で話し合いたいという申し出があった。帰りの会で学級全員に諮ったところ、チェック表をつくる、キャンペーンをやる、レクリエーション（メリハリトレーニング）の3つの中から、レクリエーション（メリハリトレーニング）をやりたいという意見が多く出た。そして、2学期末に実際にレクリエーションを行い、メリハリをよ

り高めていこうという本議題が学級全体で決定された。

3 学級活動の評価規準

| | | |
|--|---|---|
| よりよい生活を築くための 知識・技能 | 集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度 |
| 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むこのの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。 | 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。 | 学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。 |

4 事前の活動

| 日時 活動の場 | 生徒の活動 ○学級活動委員会の活動 ●全員の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法) |
|----------------------------|---|--|--|
| ○月○日 (○) 帰りの会 | ●議題を出す。 | ・議題を選定する際の視点について助言する。 | ◎よりよい学級生活をめざし、進んで議題を考えている。 【態】(フォームのアンケート、アンケートに答えているときの観察) |
| ○月○日 (○) 昼休み 帰りの会 | ○出された議題から望ましい議題を2～3個選定する。 ○議題を決定する。 | ・現状をふまえて、学級活動委員会で議題を決定する。 ・学級活動委員の提案のものと、全員の合意をもって議題を決定する。 | |
| ○月○日 (○) 放課後 | ○活動計画を作成する。 (提案理由・めあて・話し合うこと・決まっていること・役割分担等) | ・提案者の思いが全員に伝わるように提案理由の明確化に努めるようにする。 ・日時や場所等の条件を教師が設定して助言する。 ・前回までの反省を生かすという視点について助言する。 | ◎学級活動委員の役割や取組を決めるための話し合いの進行を理解している。 【知】 (活動計画、観察) |
| ○月○日 (○) 帰りの会 | ○話し合うことを全員に知らせる。 ●学級活動ノートに自分の考えを記入する。 | ・話し合うことや決まっていることが共通理解できるように助言する。 ・提案理由に沿った意見を当日に発表できるように書くように助言する。 | |
| ○月○日 (○) 放課後 | ○回収した学級ノートに目を通し、意見を整理する。 ○必要に応じて、可視化できる資料や短冊を用意する。 | ・話し合いの見通しをもつことができるようにする。 ・反対意見への解決策を求める言葉かけや、意見を投げかける言葉かけなど、すべての意見を大切にして、次の意見につなげられるような学級会運営の方法を具体的に確認しておく。 ・必要に応じて短冊への記入をしておく等の助言を行う。 | ◎よりよい学級生活をめざし、進んで議題を考えたり決めたりしている。 【思】 (学級活動ノート) |

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

よりよい学級をつくるために、学級生活でよりメリハリをつけるための取組を考え、学級内で共有し実行できるようにする。

(2) 指導計画

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿【観点】(評価方法) |
|---|--|--|--|
| 活動の開始 5分 | 1 開会の言葉 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級会の進め方に基づいて行われる話し合い活動にする。 ・自主的に学級会が運営されるように事前指導に力を入れる。 ・学級全体で考えることであることを確認する。 | |
| | 2 学級活動委員の紹介 | | |
| | 3 議題の確認 | | |
| | 学級生活でよりメリハリをつけるための取組を考えよう | | |
| | 4 提案理由の説明 | | |
| <p>提案理由</p> <p>クラスのアンケートでは、メリハリがある程度ついてきたと答えている人が多いです。そこで、よりメリハリをつけることで切り替えが早くなり、授業への集中力向上や、時間を守れる人が増えると考えました。2学期の終わりに楽しく全員でできるレクリエーション(トレーニング)を実施することで、意識が高まりよりよいクラスになると思い、提案しました。</p> | | | |
| | 5 決まっていることの確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・何について、いくつの取組を決定する等、黒板に掲示し、意識を高めさせる。 | |
| | 6 話し合いのめあての確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・前回までの学級会で決まったことや話し合いのめあてについて触れ、意識させる。 | |
| | 7 教師の話① | <ul style="list-style-type: none"> ・意見をよく聞き、それを受けての意見も言えるように伝える。 | |
| 話し合い 35分 | 8 話し合い話し合うこと①「取組の内容を決定しよう」 話し合うこと②「役割分担を考えよう」 | <ul style="list-style-type: none"> ・比べ合いながら合意形成を図り、取組の内容を決めていく。取組は2～3個に収まるようにする。 ・話し合いのルールを守らせる。 ・意見が出にくい場合は司会に助言する。 ・一人一人が相手の意見を真剣に聞けるようにする。また、一人一人が自信をもって自分の意見を発表できるようにする。 ・学級会ノートを活用し、議題に沿って話し合いが行われるように適宜助言を行う。 | ◎話し合いのめあてや活動内容について合意形成を図るため、建設的な意見を発表している。 【思】(観察、発言) |
| まとめ 10分 | 9 決まったことの確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのめあてを達成できたか振り返らせる。 | ◎見通しを持ったり、振り返ったりしながら日常生活の向上を図ろうとしている。 |
| | 10 振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するための取組に向けて意欲的に取り組めるよう励ますとともに、学級会の内容を振り返り、よかった点、反省点を振り返る。 | |

| | | |
|-----------|---|-------------|
| 1 1 教師の話② | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して見えた変容を伝える。 ・学級活動委員を称賛する。 ・議題に対して今回の結論に導くような発言者を称賛する。 | 【思】(ワークシート) |
| 1 2 閉会の言葉 | | |

6 事後の指導

| 日時 活動の場 | 生徒の活動 | 指導上の留意点 | 目指す生徒の姿 【観点】(評価方法) |
|------------|--|--|---|
| ○月第2週 | <ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを教室に掲示する。 ・当日の準備を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見やすく、わかりやすい掲示を作成させる。 ・学級会で決めたルール等をわかりやすく表記する。 ・当日の運営が円滑にできるように適宜助言する。 | <p>◎目標を意識し、仲間と協力しながら実践に取り組んでいる。 【思】(観察、活動)</p> |
| ○月第3週 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決めた取組を実践する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決めたレクリエーション(トレーニング)を実施し、全員で取り組めるように促していく。 | <p>◎実際の取組を通して身に付けた考えや行動を振り返り、これからの生活に生かそうとしている。</p> |
| ○月○日 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決めた内容を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・取組について個々に成果を評価する。 ・今後の取組について共通意識をもてるようにする。 | <p>【態】(観察、ワークシート)</p> |
| ○月以降 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級の様子を確認しながら、成果と課題を適宜見直す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・取組後の学級の成果を確認し、振り返りを行う。 | |

7 備考 生徒数 男子○名 女子○名 計○名